

令和5年度 事業計画

平成31年4月に開業した京都産業会館ホールの初年度については、いわゆる新規開業効果もあり、繊維関係の展示商談会をはじめ、各種見本市や就職フェア、講演会など幅広い催事にご利用いただき、主催者や来場者からも好評を博したところである。

しかし、開業翌年の令和2年から新型コロナウイルス感染症が世界規模で急速に拡大し、産業会館ホールにおいても催事の開催自粛や延期、縮小、オンライン開催への変更など、その影響が直撃した。

この間、ウイルスの変異やワクチンの普及等を経て、感染の拡大と収束を繰り返しながら、ようやく令和5年3月13日からはマスク着用について個人の判断に委ねられるようになり、5月8日からは感染症法上の分類が2類相当から季節性インフルエンザと同じ5類に変更された。

令和5年度については、社会経済活動の正常化が一層進み、コロナ以前の日常が完全に取り戻されるであろうことを踏まえ、産業会館ホールにおいても開業初年度を上回るご利用がいただけるよう、各種催事の誘致に積極的に取り組んでいく。

また、京都経済センタービル管理組合の管理者として、京都経済センターがより快適で安心安全な施設となるよう、適切な維持管理・運營業務等を行っていく。

1 公益法人としての取組み

地域経済の発展と市民生活の向上に寄与するため、当法人の基幹事業である京都産業会館ホールの提供を行うとともに、公益事業として京都織物卸商業組合が実施する各種事業への支援等を行う。

《主な事業》

(1) 京都市との連携事業

- ・ 中高生のきもの着付け体験の実施

京都市内に在住又は通学する中学生・高校生等を対象とした伝統産業の日関連事業「きもの着付け体験イベント」については、例年3月に京都市と連携して実施しているが、令和5年度についても、会場として京都産業会館ホールを無償で提供することや企画運営等により支援を行う。

(2) 地場産業振興事業

- ・ 「京都きものオーディション事業」等への支援

京都織物卸商業組合等が実施する「京都きものオーディション（京都・ミ

スキもの選考会)事業」及び「和装通過儀礼事業」(十三まいり、七五三詣り)、「きもの文化検定」に対して資金助成を行う。

・京都学生デザインコンペ「THE COMPE きものと帯」事業の再開

令和2年度から3年間休止していた京都市内の大学生等を対象としたきものと帯のデザインコンペについて、令和5年度から再開することとする。

休止前と同様、森口邦彦氏を実行委員長とする実行委員会を設置し事業を進めていくが、コロナ禍により当法人の事務局職員の退職補充を見合わせていること等も考慮し、新たに公益社団法人京都デザイン協会を事業のパートナーに迎え、より効果的・効率的な事業となるよう連携して取り組んでいくこととしたい。

2 法人運営の安定を図るための取組み

ホールを継続的にご利用いただいている企業等にきめ細かい営業活動を行うとともに、行政機関や各種団体への働きかけやイベント企画会社等との情報交換を通じた市場開拓も進める。

催事の分野としては、当法人の祖業ともいえるべき繊維関係の展示会を中心に据えつつ、近年ご利用の多い就職フェアや、2年前から注力してきた学術会議の誘致に引き続き取り組むとともに、文化庁の京都への移転や2年後の大阪万博を見据えた催事の誘致にも取り組んでいくこととしたい。

また、時期の面では、当ホールの閑散期であるゴールデンウィークやお盆休み等を重点期間として催事の誘致に取り組んでいく。

3 「京都経済センタービル管理組合」管理者としての取組み

「京都経済センタービル管理組合」の管理者として、経済センターの入居者及び来館者に安全・安心・快適に過ごしていただけるよう、区分所有者間で情報を共有し、連携して課題解決に取り組んでいく。